

会 議 録

会議の名称	西東京市図書館協議会 令和元年度第3回定例会
開催日時	令和2年1月15日（水）午後3時から5時まで
開催場所	中央図書館2階会議室
出席者	委員：島会長、鈴木副会長、高橋委員、長谷川委員、渡邊委員、東山委員、山口委員、上田委員、福士委員、山辺委員（欠席） 事務局：中川館長、司城副館長、三城庶務係長、徳山保谷駅前図書館地域館長
傍聴者	なし
議 題	1 諸報告 2 諮問：「西東京市図書館の開館時間の拡大について」 3 その他
会議資料の名称	資料1 中央図書館職員・専門員勤務時間 資料2 芝久保・谷戸図書館金曜日の貸出冊数（冊）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会 議 内 容	
<p><u>1 諸報告</u></p> <p>○館長 12月議会の質問は「図書館におけるペーパーレス化」について図書館では資料をデジタル化することでペーパーレスに寄与していると回答しました。教育委員会の報告は11月に平成30年度事業評価と平成26年から30年度までの5年間の評価のまとめの2本を報告させていただきました。12月は図書館に関しての案件はありません。</p> <p>新座市との協議は来年度の負担金について合意に達しました。</p> <p>耐震改修につきまして、図書館協議会、公民館運営審議会、社会教育委員の会議で説明しました。</p> <p>この件については現在、課題の洗い出しをしており、備品などを外部に預けることや、休館中のサービスについて検討しています。</p> <p>令和元年度4月から9月までの事務について監査がありました。今後、監査委員から監査結果をいただくこととなります。</p> <p>会計年度任用職員の公募を本日から実施しています。募集枠は約20名で2月1日に選考を予定しています</p> <p>来年度第4期子ども読書活動推進計画策定予定です。座長につきましては武蔵野大学名誉教授の宮川先生にお願いしました。</p>	

- 会長 ご質問やご意見はありますか。
- 副会長 休館の期間が長いので、この地域の住民サービスとして不安な点もあるので、できたら3月の会議には皆さんにお諮りして、協議会として要望を上げることができるかと思うのですが、いかがですか。
- 会長 市民サービスがどうしても低下するだろうというところの中で、何か要望ができないかと少し考えたいというようなお話でよろしいですか。
- 委員 先ほどのお話だと備品類は外部の業者さんに委託するというので、資料自体はどこかにまとめて委託するのか。それとも地域館に振り分けて所蔵するのか。
- 館長 他館も書庫も含めて満杯の状態なので、資料についても外部書庫への委託を考えています。
- 委員 中央館にしかない資料をリクエストしても受け取れない状態で1年続くということになるのですね。
- 委員 あるいは相互協力でその間を凌ぐというような考え方もあるのですか。
- 館長 基本的に相互貸借になる部分は所蔵していないものという前提があります。ただ、1年間閉じますので、それを貸してくれる側が認めるかどうか。多摩地域でそういう連絡会もありますので、そこで検討していただくことになると思います。
- 会長 予算のことなどを抜きにして考えると、この近辺にプレハブ施設を立てて最低でも子どもの本だけでも貸し出してもらえたらいいなどと考えてしまうのですが、そのあたりはどのようにお考えでしょうか。
- 館長 教育委員会の中では、施設として使える施設は現状西原の教育施設がございます。ここも非常に今手いっぱい状態ですので、それ以上のサービスは難しいかと思っています。
- 委員 市民の入った審議会の意見は市民の意見として取り上げてくださるというようにお話もありましたので、もしそういう形で受け入れていただけたら自由な意見といいますか、協議会からの意見を出しても良いのかなというふうに思いました。
- 館長 耐震改修の件をお諮りしたときも、図書館協議会からご要望書をいただいておりますので、これにつきましても協議会からご要望という形で受け取ることが可能です。皆様でおまとめいただければ、お預かりいたします。
- 会長 それでは副会長が案を作っていただけというお話がございましたのでそれ

を受けた形で次回3月に検討したいということでお願いします。

2 諮問西東京市図書館の開館時間の拡大について

○会長 次の議題の西東京市図書館の開館時間の拡大について、事務局より説明をお願いいたします。

○館長 協議会に諮問をしていただいている状況で、5月に答申をいただくということで今まで少ない時間ながら皆様にご協議いただいております。これからちょっと時間が厳しくなりますけれども、スケジュールについて皆様で確認していただきたい。

3月4日に次回の協議会が開催されます。答申をいただくのは5月末までということでございますので、今年度の追加開催は難しいですが、年度が開けた後は5月までの間に臨時会を含めて会議を開催し、5月の定例会もご議論いただくようにすれば次回以降3回議論いただくことが可能です。

今日の資料をご説明しながら、また皆様方のご意見をいただきながら、3月までに事務局としてやっておくこと、それから皆様方にどのようなスケジュールで割り振ったらよろしいかご検討いただきたいことも含めて、今日の残りの時間をそれに充てたいと思います。

以下、資料の説明。

○会長 今館長から資料1と資料2、そして参考資料の3つの資料の説明がありました。他にもいろいろなご発言があったわけですが、ご質問なりご意見などがありましたらお願いいたします。

○副会長 質問ですが、資料1で試案ということだと思いますが、これを職員アンケートに付けるということですか。

○館長 職員については、2パターンが3パターンに、専門員についても現状3パターンがさらに4パターンになる。本当にきっちりでスケジュールを管理しないと仕事ができない状況になってしまう。

11時から13時の間に職員2人、専門員3人、2階の作業も含めて最大5人という配置があるので朝の時間についてもこの5人を充てる計算をしています。

夜間は職員1人と専門員2人の3人で充てる形を考えています。専門員の比重がちょっと苦しいという感覚はあります。

○地域館長 現在、中央館奉仕係の職員は10名です。中央館には育児時間の時短を取得している職員や、育休に入っている職員がいます。地域館では、芝久保谷戸の職員は2名、残りの館は職員が4名です。土日が半数勤務のため、職員体制が組みづらいということで中央館に配置している状況です。また、中央館の地域・行政資料室担当2人が実際には遅番の担当も行うことで回している状態です。会議や休暇など、いろいろなことを含めるとこの人数全員が揃って回れば回るかもしれませんが、疑問を持っております。

近隣の練馬区の図書館が9時から開館しています。朝の部分に関しては検討

課題と思いますが、中央館の土日祝日の8時閉館は、増員があるならともかく、現状の人数では厳しいと考えております。

○会長 開館日開館時間のことというのは私も現場にいたころからいろいろと考えてきたわけですが、市民サービスからすると開館日は少ないより多いほうがいい。開館時間は短いより長い方がいいというのが市民サービスという視点からすると大事だろうと思います。そういう意味では、この議論というのは、総論では大事だというふうに思うのですね。どこに問題が出てくるかという1つは、開館日だとか開館時間が延びることによって、図書館サービスの質が維持できるのかということとを議論する必要があるだろうと思います。

2つ目は図書館は人が運営をするわけですから、働く人が本当に働ける勤務体制になるか考えないと駄目だろうと思います。

○委員 今、会長から話がありましたようにどういう体制ならば働けるかというところは、協議会のような外部からでは少しわかりづらいと思います。ですから職場の方でまずは十分な論議をしていただく必要があると思います。その上で可能な体制を示していただければ、意見も言いようがある。労働条件やシフトのことが絡むわけですから職場の方で十分な議論をまずしていただく必要があるのではないかと。協議会がこういう意見であるから、職場の方はその方向で取り組んでくれ、ということになるとちょっと責任を持って意見が言えないような気がいたしました。

○副会長 図書館の開館時間が長くなる方がいいということとともに、図書館に行ったときに居心地の良い図書館でカウンターの方や館内にいる職員の方にも本当に気軽にいろんなことを相談できて、ここにありますよとか、こういう調べ方ができますよといった、いい雰囲気図書館になるかどうかというところはやっぱり働いている方が働いていること自体に、やりがいと居心地の良さを感じていることが前提じゃないかと思うので、その部分が保証されている状態であれば開館時間は長い方がいい。

○会長 委員と副会長の話の中でもありましたが、ぜひこの話は館内で議論を進めていただきたいと思います。その意味ではこのアンケートは1つの方法としては有効だろうと思います。地域館の話もあります。

○委員 先ほど会長から話がありました、サービスの拡充ということであれば、市民としてはもちろん歓迎すべきことだと思います。潜在的なニーズというのも、もちろんあると思います。ただ、その潜在的なニーズがあるから、必ずしもやる必要があるかということは当然別問題だと考えます。サービスの中に優先度とか必要度というのがあるかだと思います。

○委員 実際にニーズがあることはわかるのですが、例えば夜間開館にしても朝の開館にしても、それから谷戸などの祝日開館にしても、いろんなパターンが出されていますが、切実に何が一番重要で、その他のものがどの程度どういう

レベルでこの要求が並んでいるのかよくわからない。これを全部実施するのが一番の目的なのか、それともニーズの高いものから順番にそれぞれの現実可能性を考えてやっていくことが必要なのか、そのあたりをもう少しわかるような手だてというのではないのでしょうか。

- 館長 お二人の意見はその通りですけれども、1つは、ここ数年の間に図書館協議会から図書館の運営のあり方については直営で、というご意見をいただいております。ですが、実際には多摩地域でも、指定管理者制度導入の勢いというのはまだ止まっていません。市民の方が委員の大半を占める図書館協議会からの意見、答申は大きな意味があると思います。芝久保谷戸の祝日開館は現在では駅前4館で実施済みのことですが、図書館の使命からすれば、開館していることは前提で、しかも毎日開館していれば、利用は平均化して職員の負担はそれほどないと思いますし、そのための体制ができるかできないかというところでの検討の余地はあると思います。あとは市民目線というところでは、公共施設の中で図書館が最もニーズが高い施設であるという認識ですので、市民ニーズに応じていくべきと思います。
- 会長 直営で維持をしていきたいという話と協議会の意見を大切にしたいとそれなりの優先順位を考えているという中で市民サービスを優先して考えていきたいというふうなお話だったろうと思います。
- 委員 協議会の意見として直営で考えていただきたいということは継続して出ている話ということですね。
- 委員 市民ニーズとしてはどちらに偏っているとかいうところがちょっとよくわからないところがあって、朝なのか、夜なのか。直営で何とかいい形を維持していこうというときに、図書館側でやれることがどこら辺なのかというのがちょっとはかりかねて難しいなと感じています。
- 副会長 職員の皆さんにアンケートをするというのは職員の方がどう考えているかを伺う意味ではすごくいいことだと思う。
- 館長 地域館で祝日開館している例はあまりありません。多摩地域で地域館というのは非常に小規模で谷戸、芝久保の規模ではなくてその半分とか、平米数でいうと200、300といった規模なので、そこでは、祝日も開けるのか、みたいな捉え方もあると思います。各市の中央図書館でも26市中17市くらいがまだ土日に5時閉館という状況ですから、図書館の温度差も相当あると思います。西東京市は合併して6館になり、駅前4館は利便性が高いこともあって、祝日開館をしてきました。ICタグの導入も、インターネットで予約することもできる。予約棚とか30冊予約できるとか、基本的なサービスについてはほとんど最大限までやってきている中で残る大きな課題は開館時間、特に芝久保谷戸の祝日開館だろうと考えています。10時を9時半にしましたとしてもこれはサービスの拡大なのでそういう方がむしろ職員にとっては優しい

のかもしれませんが。そのあたりをアンケートで確認できる項目にしたと思います。

土日祝日の閉館時間というのはグラフでもお示しましたように、予測されるのは、それまでに来た人がバラけるというだけで決してその量が増えるという分析ではありません。

○会長 次回へ向けての手がかりの1つとして、このアンケートは参考になると私は思います。ですので、今日のところはこのアンケートを検討して、その前の全体のところについては次回もありますし、またその後もありますので、議論していくということではいかがでしょうか。

○副会長 アンケートをずるとして、全職員と考えてよいですか。選択肢は、9時開館、9時30分開館、10時開館とか、同じ状態で並んでいるとその人の気持ちに近いものを選べるという気がします。

○会長 他に感想でもご意見でもありますか。

○委員 当然これは無記名でやっていただく必要があるし、アンケートの使用目的も限定するとはっきり書いていただく必要があると思います。場合によっては、回収したものを協議会の方で取り扱ってデータを図書館にお渡しする形でないと、答えにくいかなと思いました。

○会長 例えば協議会からのアンケートとするのとどちらが答えやすいでしょうか。

○地域館長 職員の本音を引き出すには、協議会の方からの方がいいと思います。

○会長 例えば私宛にして私が集計して皆さんに送るということでも構いませんし、それぐらいの仕事はさせていただきたいと思いますが、それで、皆さんがどう思うか。

○副会長 やはり本音を聞くとしたら、協議会でまとめて欲しいと思います。渡すのは全職員あてということで館からと思いますが、直接職員の方からこちらに戻る形にできればいいと思います。集計のお手伝いはできると思います。

○地域館長 回答する立場からすると、西東京市図書館がよりよい市民サービスをするという視点では現在のサービスが必ずしも劣っているとは思っていませんが、現状で、まだやりきれないことがあると考えている職員はいます。サービス拡大について本音を聞き出すとすれば、設問の仕方がとても難しいかと思えます。設問の仕方によっては、もっとがんばらなくてはいけないと思われるのではと職員が感じ取ると率直な意見は出てこないかと危惧します。

○会長 現場の感覚からすると、例えば私はレファレンス担当で、地域資料担当で、児童の担当で、といった立場で、より児童サービスよくしたいというように考えているところに開館時間か、ということはあるかもしれないですね。本

当に西東京市図書館は他と比べてもサービスを細かくやっていますが、それを踏まえた上でこういう課題があって、協議会でそのことを議論しているので皆さんのご意見を率直にお聞きしたい、という形で出すので、私がデジタルデータをいただいた上で、文章を直して皆さんに送る形で進めていくということではいかがでしょうか。

では私が直して、各職員の方に配布をし、回収の仕方等も考えていただいた上で、私が集計をして、3月には皆さんに出したいと思います。

それでは第2の案件の開館時間の拡大についてよろしいですか。

その他はよろしいですか。

それでは、長い時間ありがとうございました。次回は3月4日の水曜日に予定しておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

次回、第4回定例会

3月4日（水）午後3時から